

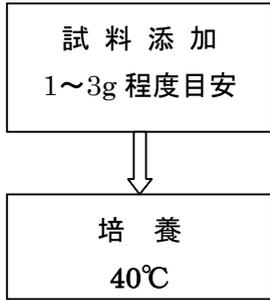
サルモネラ用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

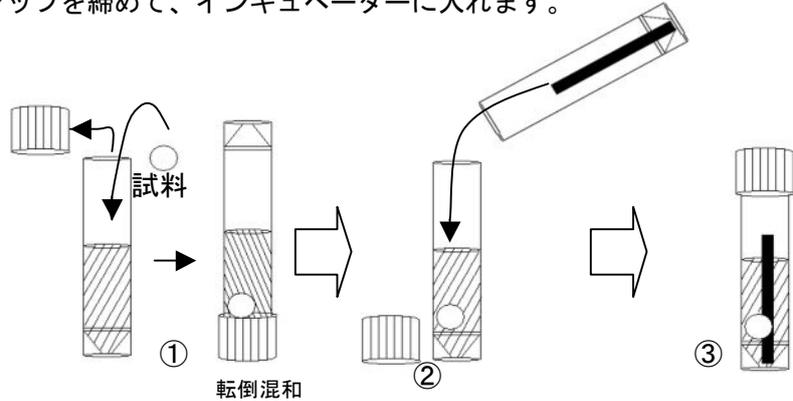
この SensiMedia は、検体中のサルモネラをシトロバクター、大腸菌、エンテロバクター、クレブシエラなどの菌から分離検出できるようにしたものです。

2. 検査の手順



試料添加

- ① SensiMedia のキャップを開け、試料を 1~3g 程度（センサーを邪魔しないで、培養液に浸かっている入るまでは添加可能です）を添加します。その後、キャップを締めて転倒混和します。
- ② 試料の入った試験管のキャップを開けておき、センサー入れ試験管のキャップを開けてセンサーを試料の入った SensiMedia に入れます。
- ③ キャップを締めて、インキュベーターに入れます。

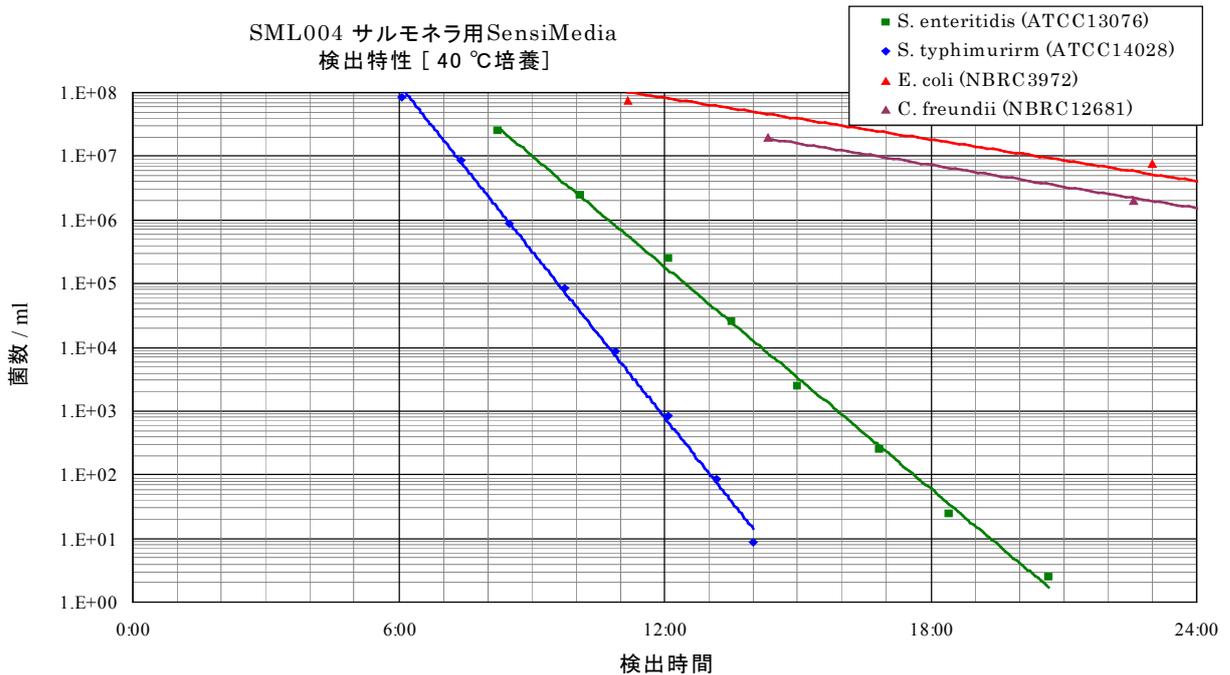


培養温度

40℃で培養してください。

3. 判定基準

標準菌株による特性は下図に示すとおりですので、試料及び危惧される微生物を用い、これを参考にプロトコルを設定してご使用ください。通常、24 時間程度経過後でもセンサーが青色のままであれば、サルモネラについて陰性と判断できます。陽性のときは、センサーが黄色透明になります。



参考) 検査判定について

培養液が黄色でも 24 時間程度経過後にセンサーが黄色透明に反応する場合、サルモネラが検出されたものとして、確定試験を実施してください。培養液の色は、他の菌による汚染が低い場合でサルモネラが検出された時に赤褐色になります。



サルモネラ (S.typhimurium) ATCC 14028 サルモネラ (S.enteritidis) ATCC 13076 大腸菌 (E.coli) NBRC 3972 シトロバクター (Citrobacter) NBRC 12681

センサー	培養液色	判定
<24hr 黄色	赤褐色	サルモネラ
<24hr 黄色	黄色	大腸菌、他